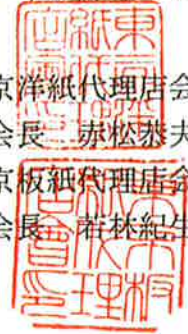


平成23年3月17日

取引先各位

東京洋紙代理店会
会長 赤松恭夫
東京板紙代理店会
会長 若林紀生



東北地方太平洋沖地震に対する対応について

拝啓

平素より毎々格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で日本経済は大きな混乱が生じております。

この度の地震によってお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害を受けられた地域と皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い皆様の安全の確保と被災地の復興をお祈りいたしております。

私ども紙業界におきましても相当の被害が発生しており、各社機能回復に向け鋭意努力しておりますが、人命・生活優先を考慮せざるを得ない局面や新たな諸問題が生じており、独自の対応だけでは紙流通の使命を果たす事が、厳しい状況となっております。

紙・板紙は、社会生活に密着しており、文化・環境側面において社会に貢献でき、かつ需要家様と共に育て上げた商品と認識しております。

この緊急事態において紙流通といたしまして、製紙メーカー各社と代理店各社が垣根を乗り越えた連携をとり、出来る限り混乱を回避したいと存じますが、安全確保の上、公平かつ慎重に対応せざるをえず、皆様のご期待に添えない場合もあるかと思えます。

なにとぞ、現状の苦境に免じ、ご容赦賜りますようお願いいたします。

敬具